

2. ペスト残影（その4）ーペストのメダルについてー

滝上 正

私は第1回ではウィーン市内、第2回ではドイツ、ボンとその周辺に見られるペスト関連の記念物について、風物詩的に紹介をした。また第3回では「ペストの塔」全般について分類、解説を行った。

今回は「ペストの記念メダル」についてドイツを中心に、次の諸項目について紹介をしたい。

これらは、主として第2次パンデミーにあたりペストの予防、平癒のためのお守りとして、またペストの消退を記念して、ヨーロッパ各地で鑄造されたメダルである。

PestmüzenとかPesttaler とか呼ばれているものもあるが、これらに貨幣価値は全くなかった。

1：歴史的事項

2：ペスタラー Pesttaler (P-thaler)

ターラーそのものはドイツで16世紀から18世紀にかけて通用した銀貨であった。ペスタラーは16世紀にドイツで流布したもので、ペストメダルのなかではもっとも古いものに属する。デザインの基本形は表面は蛇杖Schlangenfahl、裏面は十字架のキリストであるが、年とともに複雑、絵画的となってきた。L.Pfeifferらはデザインのうえから、A～Eの5形にわけている。

3：ペストペニッヒ Pestpfennig、

ペネヂクトペニッヒ Benedicts-pfennig

4：ハンブルグの歴史博物館のペストメダルなど

当博物館はMünzenkabinettがあつて、そのなかにはペストメダルをはじめ約70種の各種メダルが保存、陳列されている。

5：ハンブルグの市史料館のペストおよびコレラメダル

ここには2枚のペストメダルと1枚のコレラメダルが保存されている。それらについて詳細に説明したい。

6：ドイツ以外のペストメダル